

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成24年6月21日 (2012.6.21)

【公開番号】特開2011-229629(P2011-229629A)
 【公開日】平成23年11月17日 (2011.11.17)
 【年通号数】公開・登録公報2011-046
 【出願番号】特願2010-101551(P2010-101551)
 【国際特許分類】

A 4 7 L 9/02 (2006.01)

A 4 7 L 13/20 (2006.01)

【F I】

A 4 7 L 9/02 Z

A 4 7 L 13/20 A

【手続補正書】
 【提出日】平成24年5月5日 (2012.5.5)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

電気掃除機の本体に接続され床掃除の吸引部を先端に装着されたホースの途中に容易に取り付けることができるモップの埃の吸引具において、両端が開口した略筒状で、該周壁は、長さ方向に沿って略半筒部を占める受け壁部と、該対面の略半筒部を占める覆い壁部からなり、前記受け壁部の略中央部の側面に該内側より通じる連結管が設けられ、前記覆い壁部の一部に長さ方向に貫通する切れ目が設けられた筒状の清掃部を有することを特徴とするモップの埃の吸引具。

【請求項 2】

電気掃除機の床掃除の吸引具から電気掃除機本体間のホースの接続部の間に嵌合連結されて吸気を連通させる中空の接続管を備え、該側面に前記接続管の内側より連通する分岐管が設けられたホース連結部と、前記分岐管に前記連結管を連結させた前記筒状の清掃部とからなる請求項 1 記載のモップの埃の吸引具。

【請求項 3】

前記ホース連結部の前記分岐管に前記筒状の清掃部の前記連結管が回動可能に連結され、前記ホース連結部と前記筒状の清掃部は、互いに接する回動摺動部を有し、前記回動摺動部には吸引口と遮断部が形成され、前記ホース連結部と前記筒状の清掃部を回動させることにより、吸引口の重なり量を調整し、吸気の開閉と吸気量の調整ができる請求項 1、2 記載のモップの埃の吸引具。

【請求項 4】

請求項 2、3 記載のモップの埃の吸引具を、電気掃除機の床掃除の吸引具から電気掃除機本体間のホースの接続部の間に嵌合し連結する手段を備えた電気掃除機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0010
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

電気掃除機の本体に接続され床掃除の吸引部を先端に装着されたホースの途中に容易に取り付けることができるモップの埃の吸引具において、両端が開口した略筒状で、該周壁は、前記周壁の長さ方向に沿って略半筒部を占める受け壁部と、該対面の略半筒部を占める覆い壁部からなり、前記受け壁部の略中央部の側面に該内側より通じる連結管が設けられ、前記覆い壁部の一部に長さ方向に貫通する切れ目が設けられた筒状の清掃部を有することを特徴とするモップの埃の吸引具を提供する。

柔らかく膨らんだモップの清掃部を筒状の清掃部の周壁内へ挿入する際に、埃の飛散を防止するために、モップの柄を把持した状態で、前記周壁の側面の一部の切れ目よりモップの柄を先に挿入させ、モップの柄と共にモップの清掃部の極細繊維部を前記周壁内に引き込むことにより、筒状の清掃部を大型化することなく、モップの清掃部に付着した埃、塵の飛散を防止することができる。

【 手続補正 3 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 1

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 1 】

電気掃除機の床掃除の吸引具から電気掃除機本体間のホースの接続部の間に嵌合連結されて吸気を連通させる中空の接続管の側面に前記接続管の内側より連通する分岐管が設けられたホース連結部と、前記分岐管に前記連結管を連結させた前記筒状の清掃部とによって構成され、前記ホース連結部の前記分岐管に前記筒状の清掃部の前記連結管が回動可能に連結され、前記ホース連結部と前記筒状の清掃部は、互いに接する回動摺動部を有し、前記回動摺動部には吸引口と遮断部が形成され、前記ホース連結部と前記筒状の清掃部を回動させることにより、吸引口の重なり量を調整し、吸気の開閉と吸気量の調整ができるモップの埃の吸引具を提供する。

【 手続補正 4 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 2

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 2 】

電気掃除機の床掃除の吸引具から電気掃除機本体間のホースの接続部の間に嵌合連結し取り付ける手段を有するモップの埃の吸引具を、前記ホースの接続部の間に嵌合し連結する手段を備えた電気掃除機を提供する。

【 手続補正 5 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 4

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 4 】

【 図 1 】 図 1 は、モップの埃の吸引具 3 を電気掃除機本体 1 のホース 2 に装着した状態である。

【 図 2 】 図 2 は、モップの図である。

【 図 3 】 図 3 は、モップをモップの埃の吸引具 3 に挿入した図である。

【 図 4 】 図 4 は、モップの埃の吸引具 3 の上視図である。筒状の清掃部 6 とホース連結部 7 が並行になっている。

【図 5】図 5 は、モップの埃の吸引具 3 の上視図である。ホース連結部 7 に対して、筒状の清掃部 6 が 90° 回転している。

【図 6】図 6 は、図 4 の AA 断面図である。

【図 7】図 7 は、図 5 の CC 断面図である。

【図 8】図 8 は、図 4 の BB 断面図である。

【図 9】図 9 は、モップの埃の吸引具 3 の筒状の清掃部 6 にモップの柄 4 を切れ目 1 3 から挿入し、筒状の清掃部 6 をホース連結部 7 に対して 90° 回転させた図。

【図 10】図 10 は、モップの埃の吸引具 3 に筒状の清掃部 6 にモップの柄 4 を切れ目 1 3 から挿入し、筒状の清掃部 6 をホース連結部 7 に対して 90° 回転させ、モップ清掃部 5 を筒状の清掃部 6 に引き入れモップの清掃部 5 の埃、塵を筒状の清掃部の吸引口 8 から吸引している図。

【図 11】図 11 は、筒状の清掃部の斜視図である。

【図 12】図 12 は、ホース連結部の斜視図である。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

- 1、電気掃除機本体
- 2、ホース
- 3、モップの埃の吸引具
- 4、モップの柄
- 5、モップの清掃部
- 6、筒状の清掃部
- 7、ホース連結部
- 8、筒状の清掃部の吸引口
- 9、ホース連結部の吸引口
- 10、吸引口が連通している状態
- 11、矢印 A
- 12、矢印 B
- 13、切れ目
- 14、接続管
- 15、分岐管
- 16、連結管
- 17、周壁
- 18、床掃除の吸引具
- 19、第 1 の回動摺動部
- 20、第 2 の回動摺動部
- 21、テーパー部
- 22、ホース把持部
- 23、モップの柄の把持部
- 24、モップの柄のシャフト部
- 25、極細繊維部
- 26、ホースの接続部
- 27、遮断部 1
- 28、遮断部 2
- 29、受け壁部
- 30、覆い壁部

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

図9は、複雑な凹凸面のある個所を清掃し、埃、塵が付着したモップの柄を、モップの埃の吸引具3に設けられた切れ目13に挿入し、筒状の清掃部6をホース連結部7に対して、90°回転させた図である。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

図10は、複雑な凹凸面のある個所を清掃し、埃、塵が付着したモップの柄4を、モップの埃の吸引具3に設けられた切れ目13に挿入し、筒状の清掃部6をホース連結部7に対して、90°回転させ、筒状の清掃部の吸引口8とホース連結部の吸引口9とを連通させて、モップの清掃部5を筒状の清掃部6に引き入れた状態の図である。この状態で、モップを矢印A11の方向に反復させながら矢印B12の方向に回転させることで、モップの清掃部の埃、塵を飛散させることなく吸引することができた。

【手続補正 9】

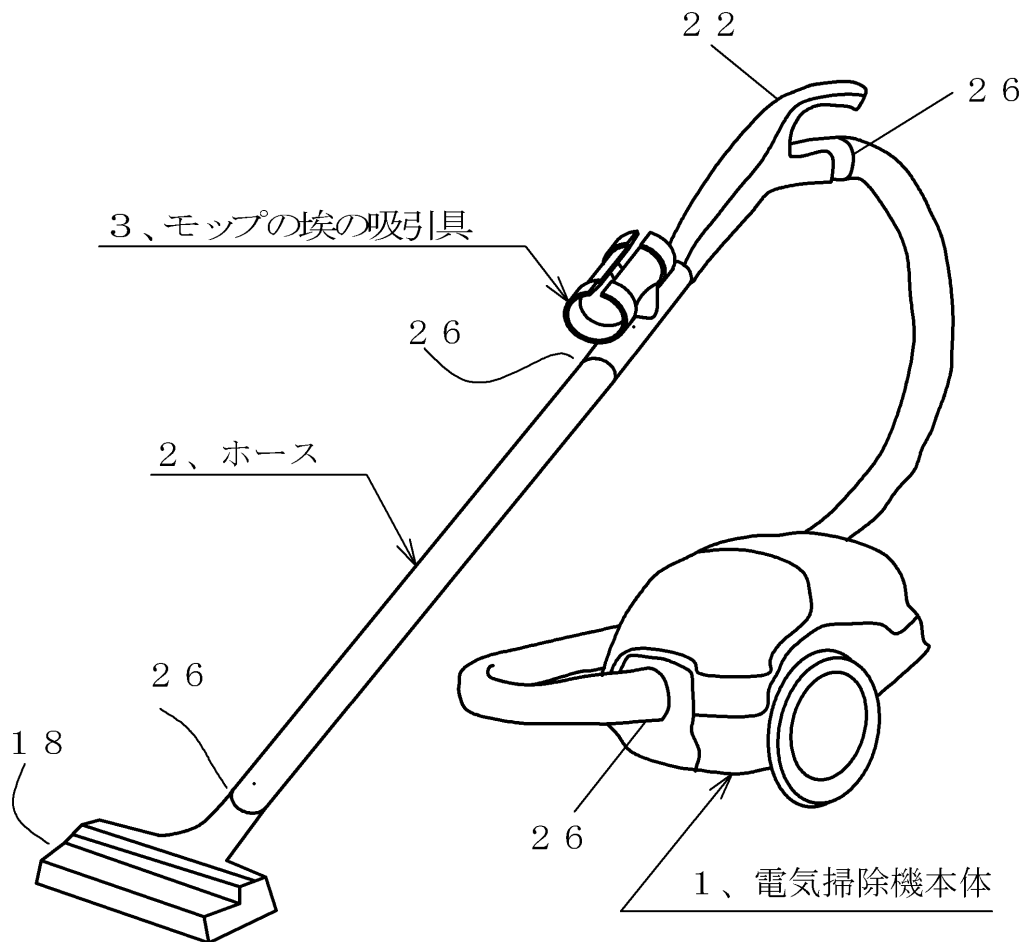
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1】



【手続補正 10】

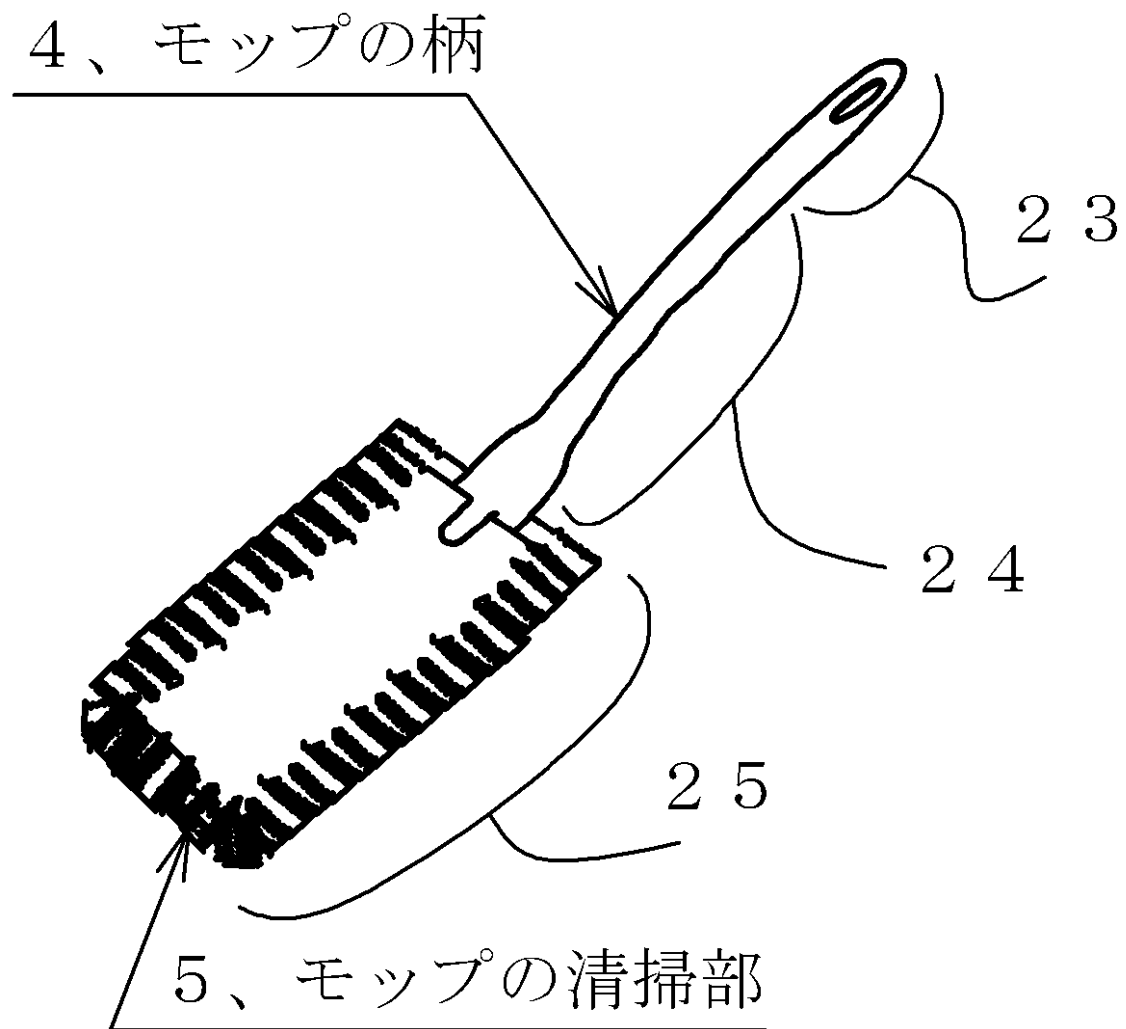
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 2】



【手続補正 1 1】

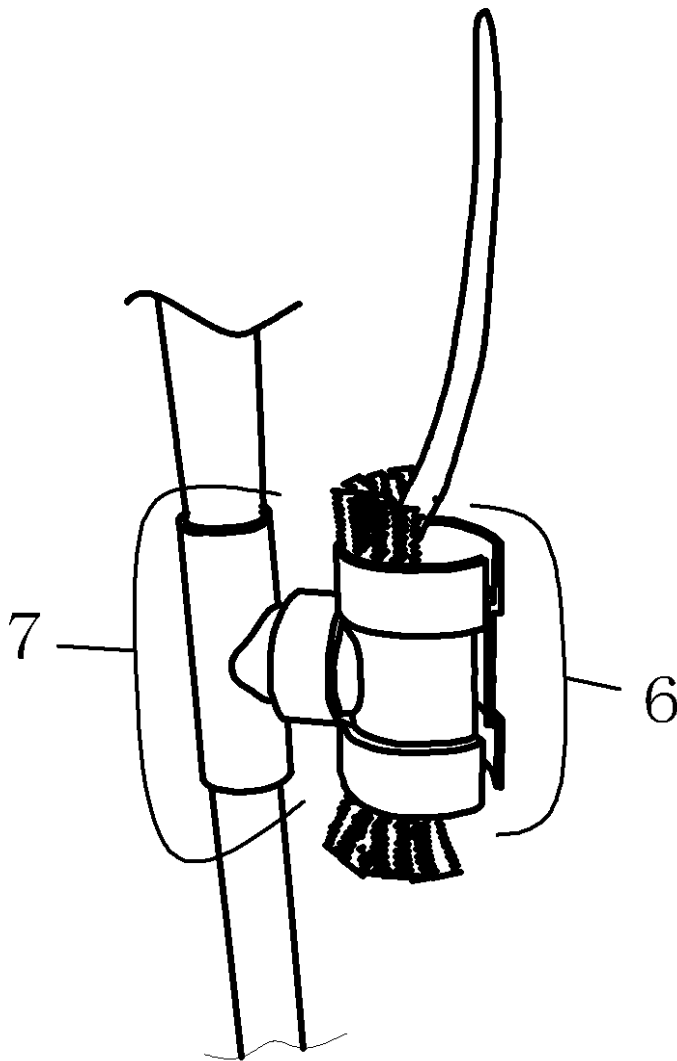
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 3】



【手続補正 1 2】

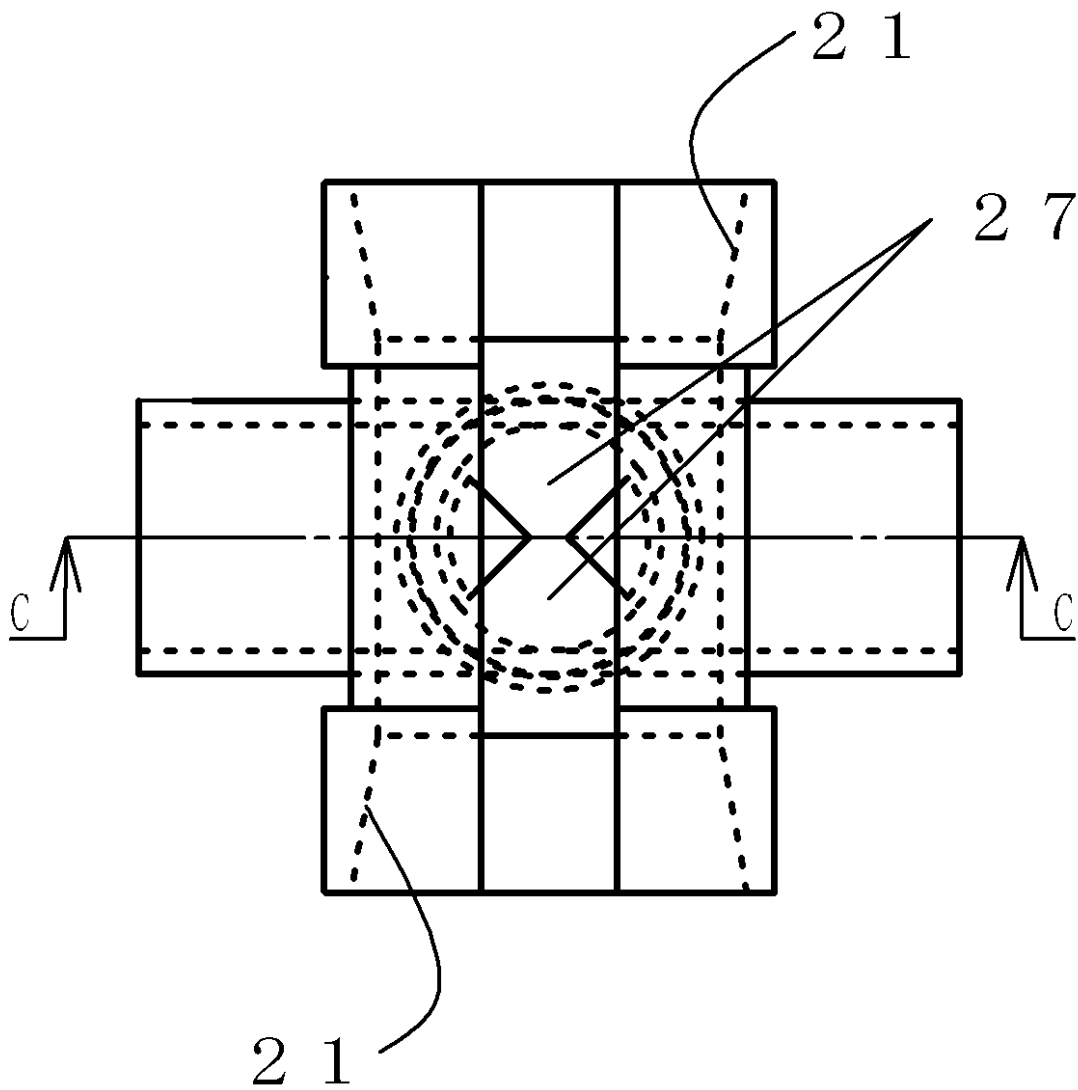
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 5】



【手続補正 1 3】

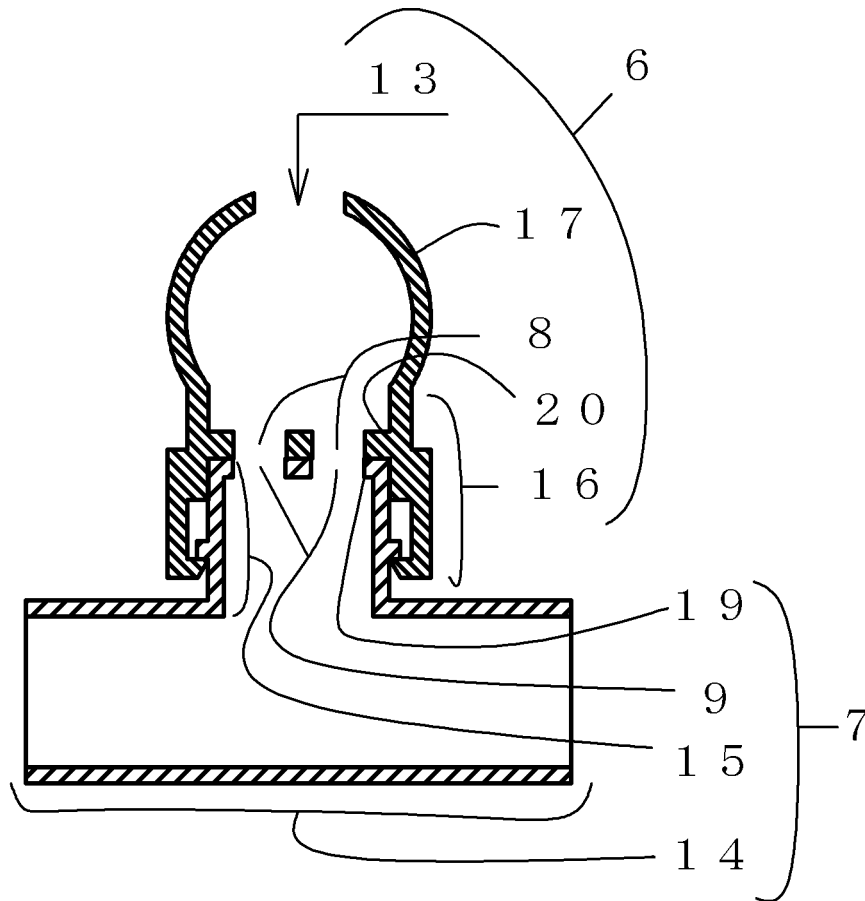
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 7】



【手続補正 1 4】

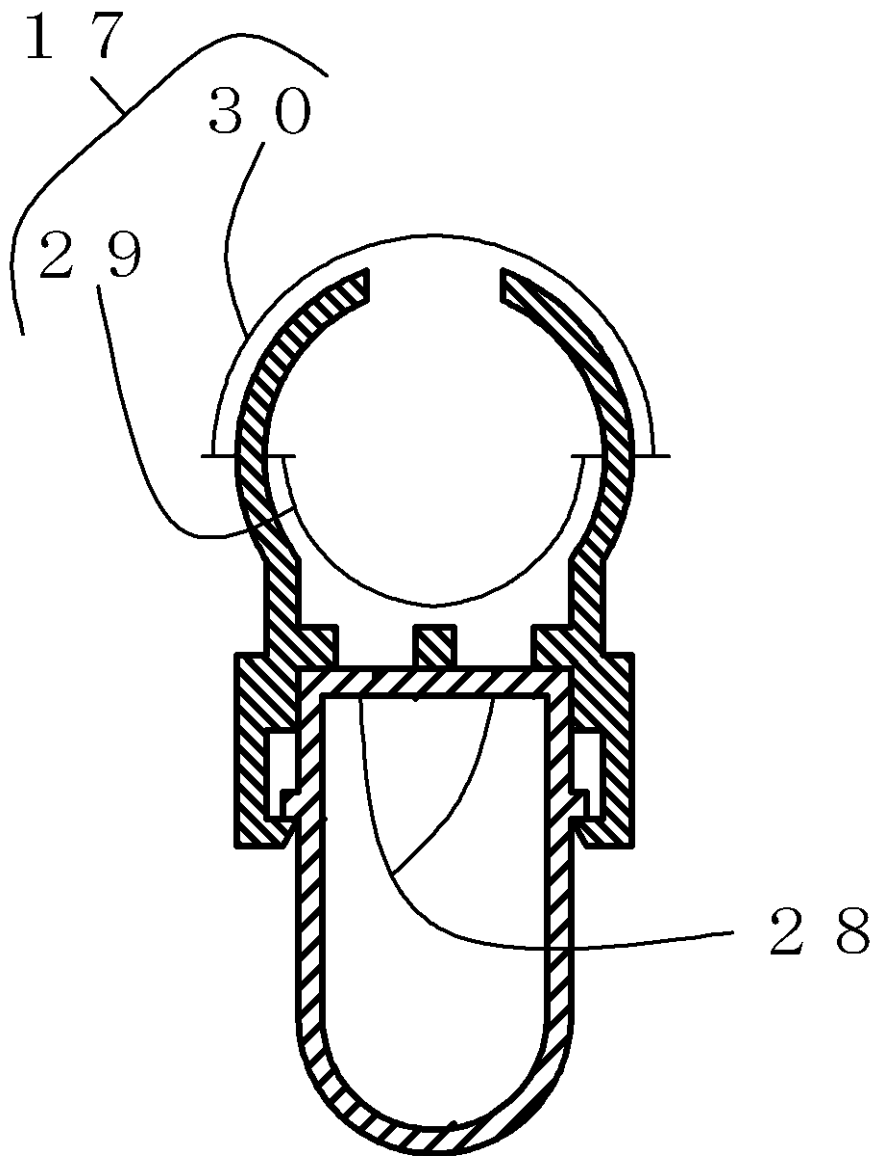
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 8】



【手続補正 15】

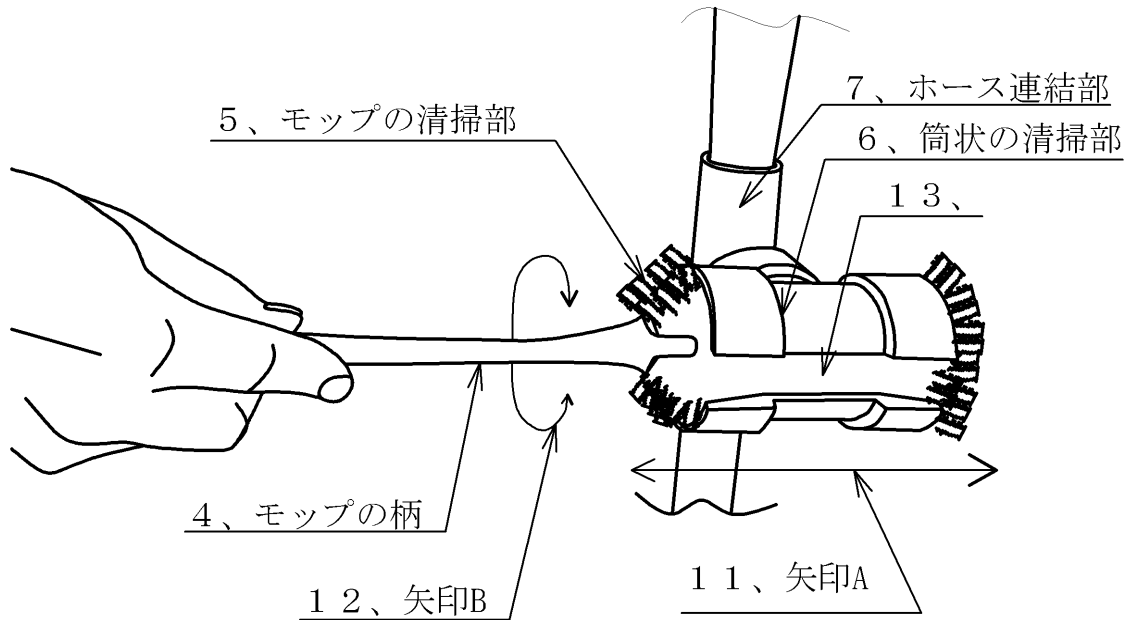
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 10】



【手続補正 16】

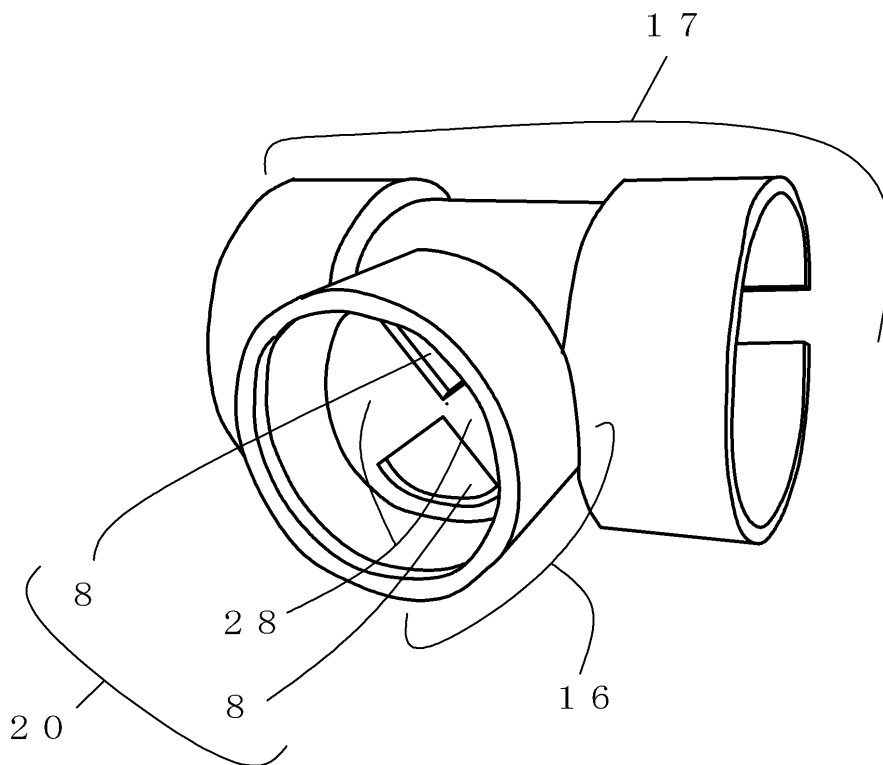
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 11

【補正方法】追加

【補正の内容】

【図 11】



【手続補正 17】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 12

【補正方法】追加

【補正の内容】

【図 1 2】

